

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2012～2013年度

1960年8月10日創立

第53代会長 和田幸男

第53代幹事 澤邑重夫



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町13-29 茅ヶ崎商工会議所3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2013年1月31日(木) 第2565回例会 天候:晴れ 司会:横山貢副幹事 No. 28

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「手に手つないで」
- ◇黙祷
- ◇表彰 ベネファクター 和田幸男君
- ◇会長挨拶
- ◇幹事報告
- ◇卓話 ウォッシュレット開発物語: 開発者・本村久の設計思想「揺り籠から墓場まで」 加茂正司君

◎表彰

☆ベネファクター(ロータリー財団恒久基金へ1,000ドル寄付) 和田幸男君 (感謝状・記章)



ベネファクター表彰の和田会長と授与役の齊藤副会長

◎幹事報告

◇国際ロータリーより 2月度ロータリーレート 1ドル=88円

◇ガバナー事務所より RI日本事務局財団室NEWS

◇ロータリー日本財団より 確定申告用寄附領収書についての依頼

◇米山記念奨学会より 確定申告用領収証[税額控除に係る証明書写し付]送付の件

◇熊平雅人様(東京RC)より 「抜萃のつづり その七十二」寄贈

◇玉蘭荘だより 137号

◇タウンニュース

◎例会変更

☆茅ヶ崎中央 2/22(金) 18:30点鐘 例会場…通常通り(創立記念例会)

◎会報 着 台北西北・綾瀬



「追悼記念週間」にちなみ、行われた例会開始時の黙祷

「追悼記念週間(1月27日を含む1週間)」
(Remembrance Week)

1947年1月27日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの命日です。1989年10～11月の理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定しました。

◎出席報告 古知屋光洋会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
1/31	2565	32	26+2	20	2	6	78.57%	
1/17	2563	32	36+3	25	0+1	3	86.21%	89.66%

◎スマイル報告 佐々木博会員

加茂正司君 本日卓話をやります。退屈でしょうが、お聴き下さい。

伊藤留治君 加茂さん、卓話ががんばって！

和田幸男君 加茂さん、卓話よろしくお願ひします。

出口敬純君 加茂さん、卓話楽しみにしています。

程島利通君 加茂さんの卓話に。

加藤 寛君 加茂さん、卓話楽しみにしております。

河本啓伸君 最早、ウォシュレットのない国へは旅行する気になれない今日この頃。加茂さんの熱便ならぬ熱弁を楽しみにしています。

小林 亨君 インフルエンザがはやっています。熱があがらないのが今年のとくちょうです。きをつけましょう。加茂さん、楽しい卓話はいちょういたします。

大森久巳男君 加茂様、卓話楽しみです。

佐々木博君 加茂さん、卓話よろしくお願ひ致します。

[本日 10 件、14,000 円です]

【卓話】ウォシュレット開発物語：開発者・本村久の設計思想「揺り籠から墓場まで」 加茂正司君



<参考>初代ウォシュレットが日本機械学会の機械遺産に～家庭用品では初の認定～

TOTO は 23 日、自社の温水洗浄便座「ウォシュレット」の初代モデル「ウォシュレット G」が、一般社団法人 日本機械学会により機械遺産に認定されたと発表した。家庭で使用される機会が機械遺産に認定されるのは初としている。

もともと東洋陶器（現 TOTO）はアメリカン・ビデ社製の「ウォッシュユアシート」と呼ばれる医療用洗浄便座の輸入販売を 1964 年から行なっていたが、日本市場に合致せず、1978 年に自社開発を決意した。

ウォシュレット G は、1980 年に発売された初めての自社製温水洗浄便座で、日本人に合った製品にするために、温水の温度制御技術や専用熱交換器の開発、洗浄ノズルの格納方法の検討など多くの新技術が開発された。現在、福岡県にある TOTO 歴史資料館に保存されている。

現在、温水洗浄便座の世帯普及率は 7 割を越えており、「ウォシュレット」は温水洗浄便座の代名詞的存在となっている。

機械遺産は、日本機械学会が歴史に残る機械技術に関連した遺産を保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的として、学会創立 110 周年を迎えた 2007 年より行なっている。

WEBSITE「家電ウォッチ」より転載

卓話は当クラブホームページからお聴きになることが可能です

ウォシュレットは、外国人観光客が持ち帰りたい日本製品のナンバーワンだそうです。そのウォシュレットも、商品化するまではさまざまな壁がありました。

そもそもは 1960 年（昭和 35 年）にアメリカで痔の医療器具として温水洗浄便器が開発され、それを輸入して 1964 年（昭和 39 年）に「ウォッシュユアシート」の商品名で発売したのがきっかけでした。私は 1965 年入社でしたが、事務所の役員室に 1 台だけ設置されていて、使うと大きな音がするので、音が聞こえると誰かが使ったとわかるようなものでした。当時、大卒初任給が 2 万円の時代でしたが、それは 2 2 万円もするものでした。

1980 年、特許が切れるのを待って開発に着手し、私も開発メンバーの一人となりました。本村さんはその中で強いリーダーシップで、執念を持ってやっていました。当時は窯業関係者が多く、電気のことのわかる技術者は 6 人しかいなかったため、それを基村さんが引っ張っていったわけです。人体実験のようなことを重ねて、出てくるお湯の温度は 38 度、ノズルの角度は 45 度と決まりましたが、女性用の方は頼むのが難しく、苦労しました。

そして、いざ発売してみると、様々なクレームがありました。温風乾燥機能が付いていたので、そんな機能があつたらトイレットペーパーが売れなくなる、とトイレットペーパー協会から苦情が来ました。その際は、完全に乾くまで待てないので、皆、ペーパーを使わなくなることはありません、と対応しました。また、お湯ではなく冷たい水が出てくるといったクレームも多かったのです。これは、貯湯器内部に面発熱体を取りつけて水を温めるシステムだったのですが、その発熱体が剥がれ落ちてしまい水が温まらないために起こった現象でした。これは本村さんが営業に言って商品を回収し、面発熱体をつけ直し、全てきれいに掃除して返却しました。さらに、当時は便座に腰掛けなくてもお湯が出るようになっていたので、誤って服やトイレの周りが水浸しになるといったクレームもありました。こうしたクレームを受け、「着座センサー」が生まれました。商品を生み出したら最後まで面倒を見る、『揺り籠から墓場まで』という本村さんの思想の為せる業だったのです。

1982 年、戸川純出演で「おしりだって洗ってほしい」のキャッチコピー（仲畑貴志）による CM も、当初は夕食時にトイレの宣伝とは何事か、と苦情も寄せられましたが、お陰でその後爆発的に売れました。1998 年には 1 千万台、2005 年には 2 千万台、2011 年には 3 千万台を達成し、他者のものを含めた普及率は 72% に達しています。多くの企業がトイレ産業に参画していますが、TOTO とパナソニックで全体のシェアの 80% を占めています。

2002 年には NHK 「プロジェクト X ～挑戦者たち～ 革命トイレ・市場を制す」が放送され、社内では偉くなれなかった本村さんも、社会では高い評価をされていることが示されました。尚、TOTO の開発したウォシュレット 1 号機が 2012 年 9 月、『機械遺産』（社団法人日本機械学会認定）に登録されることになりました。